

- P2 元気印 ズームアップ
- P4 福島県商工会連合会
第58回通常総会
- P5 青年部・女性部だより
- P6 Information 商工会だより
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 け ない 工 たら す 人 び と ぶ ぐ し ま 商 ・ 工 ・ 人

2018.7.1
Vol. 381



P2に掲載

新鮮な食材で
お客様に笑顔と感動を提供

須賀川市・有限会社ちから寿し



P3に掲載

「家と庭の調和」を大切に
顧客目線で行う庭づくり

いわき市・有限会社箱根ランドスケープ



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

浜通り 小川町商工会

「家と庭の調和」を大切に顧客目線で行う庭づくり



有限会社 箱根ランドスケープ 代表取締役 箱根 保光氏

〒979-3125 福島県いわき市小川町福岡字喜平後48 TEL 0246-83-2335 FAX 0246-83-2459 定休日/土曜日隔週・日曜日 URL http://www.hakone-ls.com/ ★ガーデンバーベキュー(*予約制/2日前まで:4名様より) 営業時間/11:00~16:00(4月~11月期間限定)

【事業所紹介】

昭和60年に「四季ランドスケープ」として創業。造園業の伝統に新しいイメージを持たせるため屋号は英語表記としたそうです。平成2年7月に法人成にするにあたり、商標を「有限会社箱根ランドスケープ」に改めています。社員は代表夫妻含め4名、地域から支持され、いわき市小川町で創業33年を迎えます。

同社は、造園部門、生花部門、バーベキュー部門の3部門で経営しています。主業である造園部門は代表が担当し、生花部門、バーベキュー部門は代表夫人が担当しています。

造園部門は、個人住宅、会社・工場、神社仏閣等の設計(デザイン)、施工から管理(剪定、除草、草刈り、薬剤散布)、資材販売までを一貫して行っています。また、注文されるお客様が出来上がりをイメージし易いように、いわき市内で初めて「モデル庭園」を敷地内へ整備しています。

生花部門では、慶弔、イベント、アレンジ花を取り扱う他、サークルや地域団体ではフラワーアレンジ講座講師を務めています。

また、バーベキュー部門は、モデル庭園を訪れるお客様からの要望、提案に応える形で平成20年



からサービスを開始し、年間約2,500人の来場者があります。このモデル庭園を活用した販売モデルで平成20年に福島県経営革新計画の承認を福島県知事から頂いています。

【経営方針】

「経験に裏付けされた知識と技術を基本に常に顧客目線での対応をすること」「常に新しいことにチャレンジし革新すること」を大切にされています。

最近の個人住宅は、洋風化(リゾート風やガレージスタイル)などライフスタイルや趣味を表現した住宅スタイルが増えているため、住宅に合わせた庭づくりを一番大切に提案されています。

「庭の役割は、家庭という字のごとく(家+庭)家とのバランスだと考えます。庭木を植えることで、奥行きや広がりをもたらし、住まいの外観バランスを整える役割も果たします。生花がもたらす生理的リラックス効果は、医学的に証明されており。木々花々を通して、共に四季を愛でる楽しみ、生活の潤いをより多くの方に広めていきたい。」と代表は話していました。

【お客様との良縁をつくるために】

創業間もない頃は中々提案をお客様に聞いていただけない時があったそうです。モデル庭園は、このような経験を活かし、庭づくりやガーデニングなど日々花がある生活を望む顧客との良縁づくりを考え、整備されたそうです。

モデル庭園では、各種樹木類の特徴や資材の使われ方、活かし方を見ることができ、その場で購入することもできます。また、植栽方法や肥料の与え方、メンテナンス等の説明、アドバイスも行っています。その他、樹木剪定やローメンテナンスの実演、提案セミナーを開催するなどし、お客様とのコミュニケーション機会を大切にされています。



【今後の目標】

同社にて技術習得し独立開業した社員はこれまで5名おります。「職人のなり手が少なく独立されることは、会社には大きな痛手だが、造園業界にとってはプラスであり、社員が成長し巣立を見るのは大変誇らしく喜ばしい。」と代表は話していました。

これからの経営も、常に顧客目線、新しい技術を取り入れながら、庭園の役割と美の調和など造園技術の承継に努め、造園業界の発展を目標とされています。

県中・県南 長沼商工会

新鮮な食材でお客様に笑顔と感動を提供



有限会社 ちから寿し 代表取締役 栗名 克己氏

〒962-0203 福島県須賀川市長沼字金町32 TEL 0248-67-2623 FAX 0248-67-2634 営業時間/11:00~22:00 定休日/不定休

【事業所紹介】

当店は須賀川市長沼地区にあり昭和44年4月に開業以来「食と人を通してお客様と共に笑顔と感動を創り続けることのできる企業」を経営理念に、新鮮で良いものをお腹いっぱい食べてもらいたいと思い営業を行っています。食材を北は北海道、南は九州、また海外からも仕入れを行い厳選した食材を提供しています。長沼地区は近隣に飲食店が少なく、昔から地域の居酒屋機能も担ってきたため、一品料理なども取り揃え、日本酒をはじめとしたアルコールも



充実させてきました。カウンターの他、複数の個室、2階には最大90名が収容可能な宴会場があり、お客様の要望に応えるべく営業しております。

【経営革新への取り組み】

例に漏れず、当店も震災時には大きく売上が減少して

しまいました。特に長沼地区は灌漑用ダムが決壊し、居住地にまで流入して大きなダメージを受け、また農業を再開できないなどの影響もあり地域全体が疲弊してしまいました。そんな中でも震災前と変わらず食材を取り揃えお客様と共に笑顔と感動を創り続けられるよう営業してまいりました。

限られた環境の中でなにかできることを考えたのが、プロでしか入手することのできない新鮮な素材を自宅で家族全員が笑顔になれる「プロの寿司職人が本気で作った手巻き寿司セットのテイクアウト」でした。事業内容を長沼商工会、岩瀬管内商工会広域連携協議会の職員さんたちと検討を行い、平成29年度の福島県経営革新計画を申請し承認を得ることができました。この取り組みにより「すし店」の持つ敷居の高いイメージを取り払い、当店を訪れていただくきっかけとなり更に地域に密着した「ちから寿し」となるよう頑張っていきたいと思っております。

【商工会による支援内容】

今回の支援をするにあたっては、復興需要の減退・風評被害・人手不足などの経済状況を踏まえ今後、飲食業として売上高を維持することを商工会に相談にきました。

その際、タイミング良く広域連携協議会主催の「売上アップ塾」を開講することを伝達、2年間にわたり受講されました。

そこで、ちから寿し様と広域協議会の職員との3者で、講習会で得た知識とアイデアを模索し、ちから寿し様の経営理念に基づき「プロの寿司職人が本気で作った手巻き寿司セットのテイクアウト」という新たな商品開発と提供を検討し、経営革新計画書の申請承認となりました。

今回経営革新計画の計画であるPDCAのP(計画)の部分承認となったことで、今後は、その経営革新計画のP(計画)からPDCAのDである実行への支援を行っていきます。



ふくしまの商工業の再生を目指して
 第五十八回
 通常総会



去る五月二十五日、福島市「ウイングホテル」において第五十八回福島県商工会連合会通常総会を開催した。総会では、席上、商工貯蓄共済並びに優良商工会等の表彰を行い、続いて来賓の内堀知事、吉田県議会議長が祝辞を述べた。議事では、重点事業として、昨年度に引き続き、商工会の広域的な連携強化事業として地域の商工会、会員の事業者の再生・再建の支援をするためのマンパワーの不足を補うため、復興経営指導員、復興経営支援員の設置や、日本橋ふくしま館(MIDETEE)を通じた安全・安心な県産品のPR及び販路開拓・販売を促進、また、小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業支援の推進など、風評被害払拭、県産品消費拡大と、中小企業・小規模事業者の持続的な経営に向けた支援などを盛り込んだ、平成30年度の事業計画を決定し、任期満了に伴う役員改選では、八名の役員が退任し、会長に齋田倉治会長(岩瀬)が再任するほか新役員が選任された。

平成30年度 事業計画重点事項

- 一、東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化**
- 1 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援
 - 2 避難地域商工会等機能強化支援事業(復興専門員の設置)
 - 3 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島(四分室事業)
 - 4 商工会の広域的な連携強化事業(復興経営指導員、復興経営支援員の設置)
 - 5 原子力損害賠償の完全実施への支援
 - 6 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施
 - 7 被災商工会等の復興(ビジョン)に基づく事業の実施
- 二、原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組みの強化**
- 1 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業
 - 2 ふくしまの新たな商品開発に向けた支援事業
 - 3 通信販売・頒布会支援事業
 - 4 福島県産の産品・加工食品放射能検査支援
 - 5 福島美味いもの食のフェア
 - 6 風評払拭・海外展開支援事業
 - 7 事業者情報発信支援の強化
- 三、小規模事業者の経営計画策定に向けた支援強化**
- 1 伴走型経営支援の推進
 - 2 経営発達支援計画の認定の推進
 - 3 経営発達支援計画認定後の実行支援
- 四、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化**
- 1 小規模企業振興条例制定の推進
 - 2 事業承継支援への取り組みの強化
 - 3 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化
 - 4 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進

- 五、商工会の経営支援体制の機能強化**
- 1 商工会の組織基盤の強化
 - 2 福島県中小企業者復興支援事業(復興支援員の設置)
 - 3 商工会職員の資質向上対策の推進
 - 4 地域振興ビジョンへの取り組み支援
 - 5 商工会地域貢献アピールプラン策定と積極的アピール
 - 6 地域の課題等解決に資する支援
 - 7 消費増税・軽減税率導入に向けた事業者支援体制の強化
 - 8 生産性向上への対応のための支援強化
 - 9 経営支援事例の共有とノウハウの蓄積による伴走型経営支援の推進
 - 10 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化
 - 11 中小企業・小規模事業者に対する事業継続計画(BCP)策定支援
 - 12 中小企業・小規模事業者に対する支援機関連携による経営支援

**商工貯蓄共済表彰
 目標達成商工会**

- 国見町、あだたら、大玉村、三穂田町、喜久田町、鏡石町、浅川町、小野町、常葉町、ひがし、矢吹町、棚倉町、塙町、南会津町、只見町、北塩原村、きたかた、西会津町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、広野町、檜葉町、葛尾村、新地町、鹿島、小高、川前町
- 平成29年度実施事業 優良商工会等表彰**
- ◆ **事業功績 企業支援部門**
- 1 経営革新計画策定支援 富久山町、田村町、長沼、鏡石町、矢吹町
 - 2 持続化事業支援 松川町、川俣町、富久山町、天栄村、石川町、玉川村、浅川町、矢吹町
- ◆ **記帳支援部門**
- 1 記帳支援事業 伊達市、あだたら、只見町
- ◆ **優良職員 職員資質向上**
- 星 純郎 (南会津町)

新役員

役職	氏名	所属商工会
会長	齋田 倉治	岩 瀬
副会長	渡部 文一	南会津町
〃	渡部 武	伊達市
〃	佐藤 一美	内 郷
〃	高橋 健	ひがし
〃	澤田 一夫	鹿 島
専務理事	今泉 秀記	県連合会
理 事	紺野 栄二	川俣町
〃	三浦 勝真	あだたら
〃	斎藤 泉	大玉村
〃	渋谷 重二	富久山町
〃	松崎 淳一	天栄村
〃	橋本 栄一	石川町
〃	塩田 芳美	大 信
〃	渡部 勝男	下 郷 町
〃	安西 秀一	あいづ
〃	荒川 英紀	会津美里町
〃	黒田 政徳	広野町
〃	高橋 孝光	好間町
〃	河 治 徹	県青連会長
〃	二瓶 恵美子	県女連会長
監 事	佐藤 利男	船引町
〃	目黒 黒一郎	只見町

青年部 だより

～県青連第51回通常総会の開催～

福島県商工会青年部連合会の第51回通常総会が5月10日(木)、多数の青年部員が参加のもと、郡山市「郡山ビューホテルアネックス」にて開催されました。河治徹会長の挨拶後、星健吾部長(逢瀬町)が議長に指名され、議案審議となりました。第1号議案から第4号議案まで原案通り可決承認されました。



平成30年度の事業計画では、組織の拡充強化を図るため部員増強運動の推進や今年で7回目となる「商工会うまいもんNo.1決定戦」の開催、地域の経済活動の担い手となる若手経営者及び後継者の資質向上のための組織基盤強化推進セミナーの実施等を採決しました。また、災害対策基金設立と災害支援マニュアルも可決承認され、災害時に迅速かつ円滑な支援活動を行える仕組みが整いました。

そして、昨年度に引き続き、福島県商工会青年部員顕彰として、人(ヒューマン)づくり部門、ネットワークづくり部門、まち(地域)づくり部門、感謝状の個人8名と1団体の顕彰が行われました。

～県青連全体部長会の開催～

通常総会終了後、平成30年度福島県商工会青年部全体部長会が開催されました。

はじめに、総務委員会より100円玉募金事業や災害支援マニュアル等について説明があり、研修委員会からは商工会青年部主張発表福島大会やうまいもんNo.1決定戦について、広報委員会からは県青連新公式HPの周知が行われました。



女性部 だより

～商工会女性部トップセミナー・第51回通常総会開催～

第51回福島県商工会女性部連合会通常総会は、5月8日・9日、福島市飯坂町 穴原温泉「吉川屋」にて開催され、内堀福島県知事、齋田県連会長をはじめ、ご来賓を迎え、県内88商工会から242名の女性部長・部員が参加しました。通常総会では、高木恵理子部長(久之浜町)が議長となり第1号議案から第3号議案までが原案通り可決承認されました。



併せて総会の席上において、昨年度新規部員の加入数が優れていた3女性部、及び女性部カード契約数が優れていた3女性部に対しそれぞれ表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。

今年度の事業活動においては、重点事業として地域振興事業のため「おもてなし交流事業」の企画提案を推進していくことなどが採決されました。

また、通常総会に併せて実施した「女性部トップセミナー」では、県内6ブロックの代表者による商工会女性部主張発表福島県大会が行われ、「女性部活動と地域振興・まちづくり～震災後の女性部活動「輝こう!!キラリ久之浜」～」というテーマで発表した、いわき地区代表・久之浜町商工会女性部 副部長 根本みね子さんが最優秀賞(県知事賞)に選ばれ、東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。

平成29年度新規部員加入実績

- 第1位 本宮市商工会女性部 9名
- 第2位 湯川村商工会女性部 4名
- 第2位 好間町商工会女性部 4名

平成29年度女性部カード契約実績

- 第1位 伊達市商工会女性部 17件
- 第2位 飯坂町商工会女性部 10件
- 第3位 中田町商工会女性部 3件

消費喚起・購買力向上を目指し商品券発行



観音寺川の桜（ライトアップ）

猪苗代町商工会長の渡部常男です。猪苗代町は会津地方の東端、福島県のほぼ中央に位置し、北に磐梯山、南側には日本で四番目の広さを誇る猪苗代湖があります。町内には「観音寺川の桜」をはじめとする数多くの桜の名所があり、春にはゴールデンウィークまで、毎年、多くの見物客でにぎわいます。猪苗代湖では夏の湖水浴だけでなく、マリンスポーツやフィッシング等を楽しむ

また、町内には湯量豊富な源泉が数多く湧き出ており、十数か所の温泉地で旬の素材を大切に活かしたお料理を味わうことができ、宿泊だけでなく、日帰り入浴などでも名湯、秘湯を満喫できます。

さらに、千円札の肖像にも選ばれている、世界を舞台に活躍した細菌学者「野口英世博士」の生誕の地としても知られています。



夏の磐梯山と猪苗代湖

町北側に位置する磐梯山にはいくつものスキー場が点在し、冬期間は県内外より多くのスキーヤーが訪れており、四季折々季節の風物詩を楽しむことができます。



札幌旅行抽選会

ダブルプレミアム付き商品券発行

猪苗代町商工会では毎年、町内の消費喚起並びに購買力の町外流出に歯止めをかけることを目的として、商品券発行事業を行っています。

昨年までは千円券を十一枚のセットにして三千組発行しておりましたが、非常に好評で例年、即日完売していることから、今年度は町当局より補助金の増額をいただき四千組を販売することとなっております。

この商品券は10%のプレミアムの他、豪華賞品が当たる抽選会を二月初市会場にて行うこと

この商品券抽選会の目玉賞品として、福島県が行っている福島空港利用促進事業を利用した北海道ペア旅行のご招待を行っており、その他にも猪苗代町民の方が住宅の新築や増改築など町内建設業の事業所を利用して行う工事等について、会員事業所利用促進事業と称して、施工金額三〇万円を一口として抽選会を行い、これらの賞品としても北海道ペア旅行のご招待を実施しております。

昨年までは五組一〇名のご招待でしたが、多くの町民の方々より千口以上のご応募をいただくなど、好評を博していることから今年度は六組十二名を北海道旅行へご招待するよう決定しています。

商工会では町商工業振興のために組織の総力を挙げて今後とも積極的に各種事業を展開してまいります。

会員企業と地域経済の発展を目指す



本宮市商工会長の石橋英雄です。本宮市は福島県の中央に位置し、市の中央を東北本線、東北自動車道、国道四号線が南北に走り、磐城自動車道に近接する交通の要衝として、また、安達太良山系や阿武隈山系の豊かな自然や水、隣接地域を含めた雇用確保環境に恵まれ、県内外より多くの企業が進出し、県有数の工業都市として発展してきました。

まちづくり事業の推進

本宮市商工会は、平成二十年四月に旧本宮商工会と旧白沢村商工会が合併し、昨年十周年を迎えました。合併以前から会員企業と地域経済の発展に関する各種事業に取り組んでおり、特にまちづくり事業に積極的に取り組んできました。平成十七年に中心市街地の道路拡幅に合わせて各店舗前の歩道拡幅と無電柱化を行いました。平成十八年には街づくり会社「Mott.com」とも「みやが」が設立され、当該組織や市と一体となって、地域FM放送や定期的な商店街活性化イベント事業を実施しており、



商店街活性化イベント

「コミュニティ」を重視した街づくり・地域づくりを実践しています。現在、JR本宮駅周辺の再開発が進められています。これから駅前の地域交流センター、駅舎改修による西口と東口の開発が進んでまいります。これらの機会を活かし、市街地はもとより地域全体の活性化に取り組んでいきたいと考えております。

平成二十八年より経営発達支援事業に取り組み会員事業者への経営支援を強化しております。これからの、会員企業の発展と地域経済全体の発展を目指して、各種事業に取り組んでまいります。



プレミアム付き商品券を買い求めるお客様

本宮市共通商品券発行事業

地域の商業・サービス業の振興と消費者の利便性向上を図るため、平成十四年より使用期限なしの商品券を発行（販売）しています。現在、百二十二店が取扱店となっており、消費者に利便性や汎用性が高くもらうてうれしい商品券としてご利用いただき大変好評です。

また、毎年プレミアム付き商品券の販売と、使用した商品券の半券番号を活かしたお楽しみ抽選会を行っており、プレミアム付き商品券販売時は、毎年長蛇の列ができて、販売開始十分で売り切れになるほど盛況です。取扱店・消費者双方から有益な事業として定着しています。



プレミアム付き商品券販売

部会事業

本宮市商工会には、商業・サービス業・工業・建設業の四部会があり、会員が自ら参画して事業を行う組織として、それぞれの部会が積極的に事業活動を行っています。商業・サービス業部会の「本宮市しらさわ秋祭り（商工祭）」での抽選会、「工業部会の「工場視察研修・交流会」、建設業部会の「市長を招いた講習会・交流会」等独自の事業の他、合同で「親善ゴルフ大会」「先進地視察研修」「新春賀詞交歓会」を開催し、異業種間の交流と親睦を図りつつ、ビジネスマッチングの機会としています。

ダブルプレミアム付き商品券として、より付加価値の高い商品券として地域内商工業の振興と地域経済の活性化に寄与することを目的としています。

会員事業所利用促進事業

この商品券抽選会の目玉賞品として、福島県が行っている福島空港利用促進事業を利用した北海道ペア旅行のご招待を行っており、その他にも猪苗代町民の方が住宅の新築や増改築など町内建設業の事業所を利用して行う工事等について、会員事業所利用促進事業と称して、施工金額三〇万円を一口として抽選会を行い、これらの賞品としても北海道ペア旅行のご招待を実施しております。

昨年までは五組一〇名のご招待でしたが、多くの町民の方々より千口以上のご応募をいただくなど、好評を博していることから今年度は六組十二名を北海道旅行へご招待するよう決定しています。

商工会では町商工業振興のために組織の総力を挙げて今後とも積極的に各種事業を展開してまいります。

ライフプラン・コンサルタントサービスを活用してみませんか？

ご家族の明るい未来のために

企業経営の将来のために

- ・住宅資金
- ・死後の整理資金
- ・緊急予備資金
- ・相続対策資金
- ・長期療養資金
- ・子どもの結婚資金



毎月の生活資金

子どもの教育資金

老後の生活資金



事業保障対策資金



退職金準備資金



事業承継対策資金

- ・緊急予備資金
- ・遺族生活保障資金
- ・長期療養資金
- ・福利厚生資金

ジブラルタ生命は生命保険のスペシャリストとして商工会員の皆さまをサポートいたします。

<p>商工貯蓄共済 商工貯蓄共済医療保障特約型</p> <p>商工貯蓄共済は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています。商工貯蓄共済医療保障特約型は、ジブラルタ生命が新医療保険として引き受けています。</p>	<p>商工会の福祉共済「生命」保障</p> <p>商工会会員様向けの、生命を保障する共済制度です。ご家族のために、会社のために、大切な保障をお届けします。</p>	<p>商工会の団体扱いについて</p> <p>ジブラルタ生命は、全国商工会連合会、都道府県商工会連合会および各商工会と団体扱契約を締結し、ジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントが商工会会員の皆さまのニーズに応じた保障をお届けしています。</p>
---	--	--



ジブラルタ生命保険株式会社

福島支社

〒963-8001 福島県郡山市大町1丁目14-1 ジブラルタ生命郡山ビル2階

024-991-6341



平成30年度ふくしま農商工連携ファンド事業 公募開始のお知らせ

新商品・新技術等の開発、調査・分析又は 販路開拓等に係る経費の一部を助成します

■ **第1回公募期間** 平成30年7月2日(月)～平成30年7月31日(火)
※平成30年10月1日から開始(事業着手)する事業が対象

ふくしま農商工連携ファンド事業

今回助成総額(予定)4,000万円程度
【助成率】助成対象経費の5分の4以内

農林漁業者と中小企業者等の連携体が、それぞれの強みを生かしながら、新商品の開発や販路開拓等に取り組む事業に対して助成を行うことにより、地域産業の活性化を図ります。詳しくは、当センターWebサイト内、該当事業のページをご覧ください。

当センターWebサイト

<http://www.utsukushima.net/>

福島 振興センター

検索

お問合せ先



(公財)福島県産業振興センター 経営支援部経営支援課

〒960-8053 福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2F TEL 024-525-4035



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。